

当日参加できなかった皆さんも思いついたことを書いてみてください。わからないときは、参加した方に聞いてみてね◎


今、地域で 何が起きている？

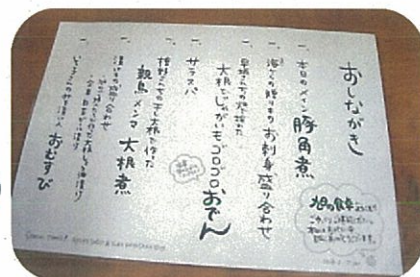
SPECIAL THANKS !



↑ 協働のまちづくり推進課の
大河原係長も大満足♪笑

懇親会の料理はなんとすべて手づくり！！旭地区のおかあさんたちが腕を振るってくださいました。前日から仕込んだおでんは、よ〜く味がしみ込んで絶品でした◎心も体もポッカポカになる温かいご協力、本当にありがとうございました◎

つい、うっかり。カメラに気づいたのは、一口も二口も食べた後でした。(ごめんなさい〜) お品書きで、想像してみてください♪ 



編集後記

今回は、地域おこし協力隊の高橋巴隊員の発案で、かわら版特別号を発行することになりました。2月17日に行われた塾の熱気と楽しさを、ぜひ地域の皆さんにお伝えしたいとの強い思いが、ご覧いただいた方には伝わったのではないのでしょうか。

地域を一番よくわかっているのは、地域の皆さんです。ただし、それぞれの年齢や立場、役割によって、知識や経験、想いの方向は違います。それをつなぎあい、お互いに気づき合うのが話し合いであり、地域づくりに欠かせないもの、そしてとても楽しいものだと考えています。来年度は、地域の皆さんと話し合い、学び合う場をたくさん企画したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
協働のまちづくり推進課 大河原

地域おこし協力隊が見て、聞いて、教わった旭。

旭かわら版 特別号

発行：加美町協働のまちづくり推進課
発行日：平成30年3月1日
連絡先：〒981-4292
加美町字西田三番5番地
TEL：0229-63-3215
FAX：0229-63-2037
E-mail：kyodo-matidukuri@town.kami.miyagi.jp



今号は、2月17日に行われた『先行開催！旭地域づくり塾～小さな一歩は、大きな一歩～』の様子を地域の皆様にお伝えしたく、特別に発行した「旭かわら版」です。

旭地区にお住まいの皆さま、いつも大変お世話になっております。地域おこし協力隊の高橋巴です◎

今年は数年ぶりの積雪量になっているようですが、完璧な除雪のおかげで、毎日無事旭地区公民館まで辿り着くことができます。朝にはすっかり除雪がされているということは、いったい何時から除雪車を動かしているのでしょうか？みんなのHERO！旭の除雪！本当にありがとうございます。

さて、今号は、発行以来初の特別号『旭かわら版』です。先日、旭地区公民館で行われた『先行開催！旭地域づくり塾～小さな一歩は、大きな一歩～』の様子を、ホットなうちに旭地区にお住まいの皆さま全員にお伝えしたいと思い、急ぎ発行することを決めました。(笑)できれば保存版として手元に置いていただき、雪かきの合間にでも読んでいただければ幸いです。

当日もあいにくの吹雪となってしまいましたが、たくさんの皆さまにお集まりいただき開催することができました。この場を借りて心より感謝申し上げます。ご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました！

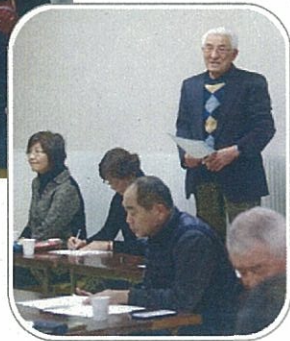
今回の『旭地域づくり塾（先行開催）』では、講師に、岩手県西和賀町より「西和賀まるごと食べてみでける隊」の皆さんと、大崎市より「おおさき地域創造研究会」事務局長の小玉順子さんをお招きし、それぞれの活動について発表していただきました。個性を生かした地域づくりや話し合いの大切さなど、【笑いあり×笑いあり】のとても楽しい真面目な話に、地域づくりを身近に感じるきっかけを見つけた気がします。

なるべく当日の雰囲気もお伝えしたいと思い、レポート風にまとめてみました◎ →→→

ご〜〜んなにたくさんの皆さまにご参加いただきました！！



西部地区コミュニティ
会長よりごあいさつ
「いろいろな方から知恵を借りて自分たちの地域『旭』について考えていきましょう」



この辺にも
まだまだいます！

事例発表 ①

ハイデックさん 60歳
マタギの然(しかり)さん



トナカイさん(役場職員) 高橋さん(役場職員)

2m50cmの積雪も西和賀のPRに利用してしまう「西和賀町まるごと食べてみでける隊」は、若いマタギやらひなびた旅館の館主やら役場職員やらが自主的に集まり始めた西和賀町PR団体。彼らの活動にとって大事なことは、馬鹿者になること。そして、逆境こそチャンスだと地方ならではのデメリットを上手く活用し、関東圏に出向いては西和賀町をPR。ファンづくりに勤しむ日々だそう。今では訪れるだけでなく、移り住んじゃう人まで続出して本人たちもびっくり！そんな彼らからのアドバイスは、馬鹿者になること！やりたいことやったもん勝ち！

事例発表 ②

小玉順子さん



話し合うことに重点をおいた地域づくりをサポートする「おおさき地域創造研究会」の小玉事務局長さんには、ワークショップ体験の進行役も務めていただきました。

話し合いの場から聞こえてくる言葉をつないで、地域のための地域づくり。自分たちのペースで、自分たちの視点で始めればいいんだと背中を押してもらいました。

ワークショップの時間を延長してしまうくらい盛り上がった今回の話し合い。来年度から始まる『旭地域づくり塾(仮)』のサポートもしていただく小玉さんからこれから楽しみ！と言っていました。

ワークショップ体験

「ワールド・カフェ」という話し合いを気軽に始めるための方法で、ワークショップを体験しました！
ワークショップの目的は、それぞれの対話を楽しみ、今日の気づきを持ち帰ること◎

話し合いのテーマ

「今、地域で何が起きている？」

日々の暮らしの中で感じていることや思っていることをグループごとに話し合いました。「同世代が少なくて寂しい！」「旭小の統合後はどうなるの？」「協働がなくなってしまった」など、様々な声が聞こえてきました。

ワールド・カフェ

「カフェのような空間でこそ創発される」という考え方に基づいた話し合いの手法です。各テーブルに一人ずつ残り他のメンバーは旅をするようにテーブルを移動します。旅先での対話をお土産として持ち帰り、さらに対話を深めます。



自己紹介

最年少は18歳。最高齢は75歳！
ご近所さんのことは何でも知っている旭の皆さんですが、改めて自己紹介。名前と普段何をしているかと西和賀町の事例を聞いて思ったことをそれぞれ発表しました。

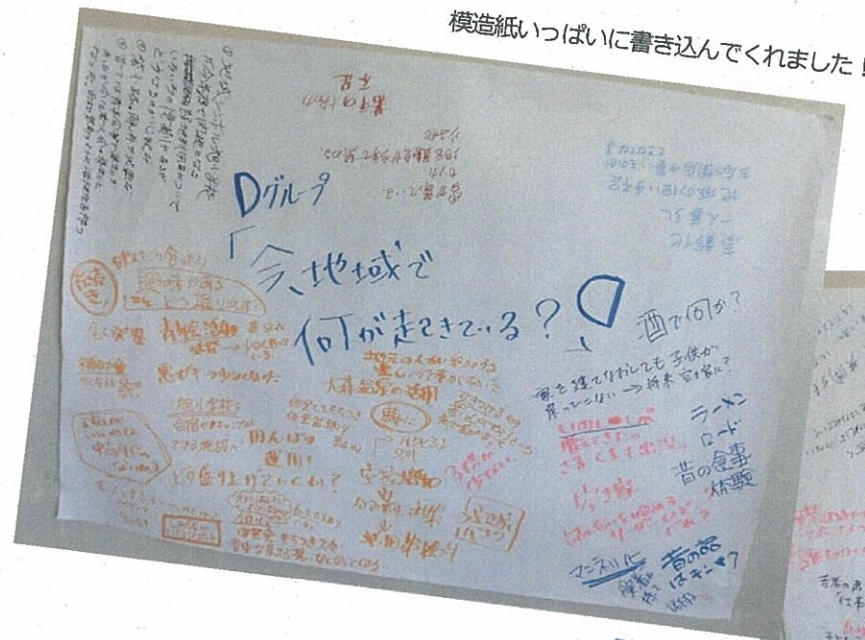
最初はちょっと恥ずかしさもあったけど、移動するたびに盛り上がっていきま〜♪

なんとなく思っていたことが、言葉になって飛び出したら、あとは始めるだけ！

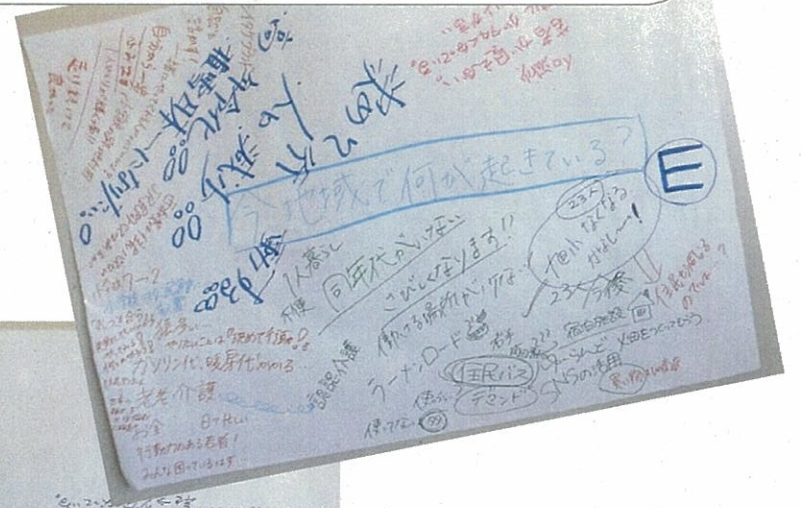


話し合い

空き家や耕作放棄地、獣害など現状について話していると、いつの間にか話題は「話し合いの場が必要だね」「集まってお茶を飲むところがほしいね」など、こうしたい！ああしたい！に。



模造紙いっぱい書き込んでくれました！



最後に、今日の対話で気づいたことや持ち帰りたいと思ったことをそれぞれ書いてもらい、書いたことをみんなと共有しました！発表してくれた皆さん、ありがとうございました◎



話し合いと言えば、別名「懇親会」♪♪

懇親会が終わるころには、みな家族のようになっていました！
地域づくりの基本は、みんなの笑顔😊😊😊

